

マキノ病院ニュース

第 7 5 号

— 平成 2 5 年 1 月 1 日 発行 —

新年あけましておめでとうございます

理事長・院長 森田 豊



くの患者さんにこの治療の恩恵を受けていただきたいと考えております。

整形外科分野では、腰椎圧迫骨折や大腿骨頸部骨折に対し、適切な手術とその後のリハビリテーションに力を入れております。これらの骨折は寝たきりの原因となることが多いとされていますが、当院ではほとんどの方が、骨折前とほぼ遜色のない状態で退院していただいております。

癌関連では、胃や大腸の早期癌の発見に力を入れております。最近では胃癌や大腸癌であつてもごく早期であれば手術をせずに内視鏡治療で根治することができま

す。実際当院でもそのような早期の癌を発見し、手術せずに内視鏡下の治療で治すことができた患者さんが増えております。一方進行癌で化学療法が必要な方に対して、出来るだけ入院せ

ずに外来でも癌化学療法を行うようになってきています。当院でも可能な限り外来で化学療法を行うようにしております。さらに根治出来ない終末期の癌に対しては、苦痛の少ない安らかな最期を迎えられるよう緩和医療にも力を入れております。緩和ケア病棟（ホスピス）はありませんが、それに準じた緩和医療体制を構築していきたいと考えています。

また、一昨年の9月に皮膚科に片岡医師が就任しておりますが、静岡県立癌センターでの豊富な手術経験を生かし、皮膚科領域の癌の手術にも取り組みんでおります。

この様にマキノ病院では、各科さらなる診療内容の充実をめざし努力しておりますので本年も宜しくお願い申し上げます。

診療科のご案内

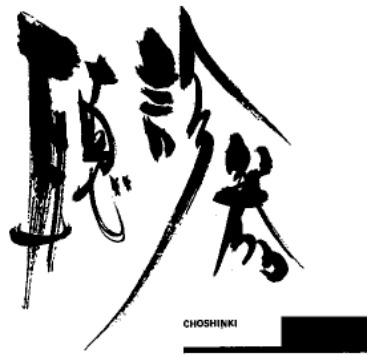
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科
リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —

平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099

ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

ドクターコーナー



江戸時代から五十腕、長命病とも言われていたことです。年齢、痛み、運動制限、自然回復を特徴とするという病態と認識されて来ました。

五十肩では学術的な定義がはつきりしていません。「肩の痛みで、診断できるもの以外」とでもいいえるです。

五十肩って何？

整形外科 笠原 壽人

しょうか。病名としては「肩関節周囲炎」と呼んでいます。

肩関節周囲炎は「40台以降に好発し、6〜12ヶ月の経過で自然治癒することが特徴」とあります。この自然治癒ということが誤解されて放

るポイント結構多く、肩甲骨の上のところ、腕の付け根のところなどさまざまで、後ろ側の痛みもよくあります。

年齢分布としては50台が40%、60台が30%、40台が20%、で40台

治療は痛みの除去と拘縮予防とその除去にあります。

まず、消炎鎮痛剤を服用することからはじめます。薬を飲みながら可動域訓練をします。

リハビリ室でも家庭でも痛い肩を挙げる運動です。反対側の手で挙げる、壁に手をかざして肩も受動的に持ち上げる、などでもましになることが多いのですが、改善しなければ注射をします。

はじめから注射をする場合もありますが、当院ではあまりしていませんが、麻酔をかけて肩を動か

置する方が多くおられます。

症状としては、手を挙げようとすると肩が痛いというのが代表的です。

以降にほとんどが生じます。夜間痛も特徴的です。

病態についてはさまざまな見解がありますが、癒着、関節内の硬さが関係しています。

レントゲン所見に異常はありません

すマニピュレーションや、関節内圧を下げるための治療もあります。これらがうまくいかなければ、手術をすることもありますが、そもそも予後のよい病態であり、概念がはつきりしていないことから手術にいたるケースはまれです。

肩の痛みが首からの神経症状であることもあります。

肩が急に挙がらなくなったら、整形外科にお越しください。

